



雨風太陽

大塚泰造

株式会社雨風太陽

取締役 コーポレート部門長

▼プロフィール

1977年、滋賀県生まれ。大学卒業と同時に起業し、数多くのウェブサービスの立ち上げを行う。東日本大震災後に高橋博之と出会い、共にNPO法人東北開墾を創業。食べものに情報を付加することで価値を上げ、持続可能な食文化を構築すべく「東北食べる通信」「ポケットマルシェ」等を開発。2015年当社設立、取締役就任。



Mission

都市と地方を
かきまぜる

Vision

日本中あらゆる場の
可能性を花開かせる

私たちは、全国の生産者を媒介に、
都市と地方をつなぐことで地域を持続可能にし、
将来にわたって活力ある日本社会を残したいと願う会社です。

沿革

 食べる通信



2011年3月

高橋が東日本大震災の被災地で生産者と消費者が交流するのを発見し事業コンセプトを発案

2013年7月

NPO法人東北開墾を立ち上げ、『東北食べる通信』を創刊

2014年4月

(一社) 日本食べる通信リーグを設立し「食べる通信」モデルを全国展開開始

2016年8月

高橋が「関係人口」を考案し提唱する

2016年9月



日本初の産直ECアプリ『ポケットマルシェ』をリリース

2020年3月

コロナ禍における巣ごもり需要で流通額が急伸

2022年4月

株式会社雨風太陽に社名変更
雨風太陽

2022年9月

IMM（インパクト測定・管理）を開始し、インパクトIPOの準備を本格化

2023年12月

日本で初めて、NPOとして創業した企業が上場を実現するインパクトIPOとして、東京証券取引所グロース市場へ株式を上場

2025年4月

旅行予約サイト「STAY JAPAN」を事業譲受
STAY JAPAN

2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025

日本最大級※1 8,600名超の生産者ネットワーク

北は稚内から、南は西表島まで。

日本にある市町村の

89.0%※2,3 をカバー。

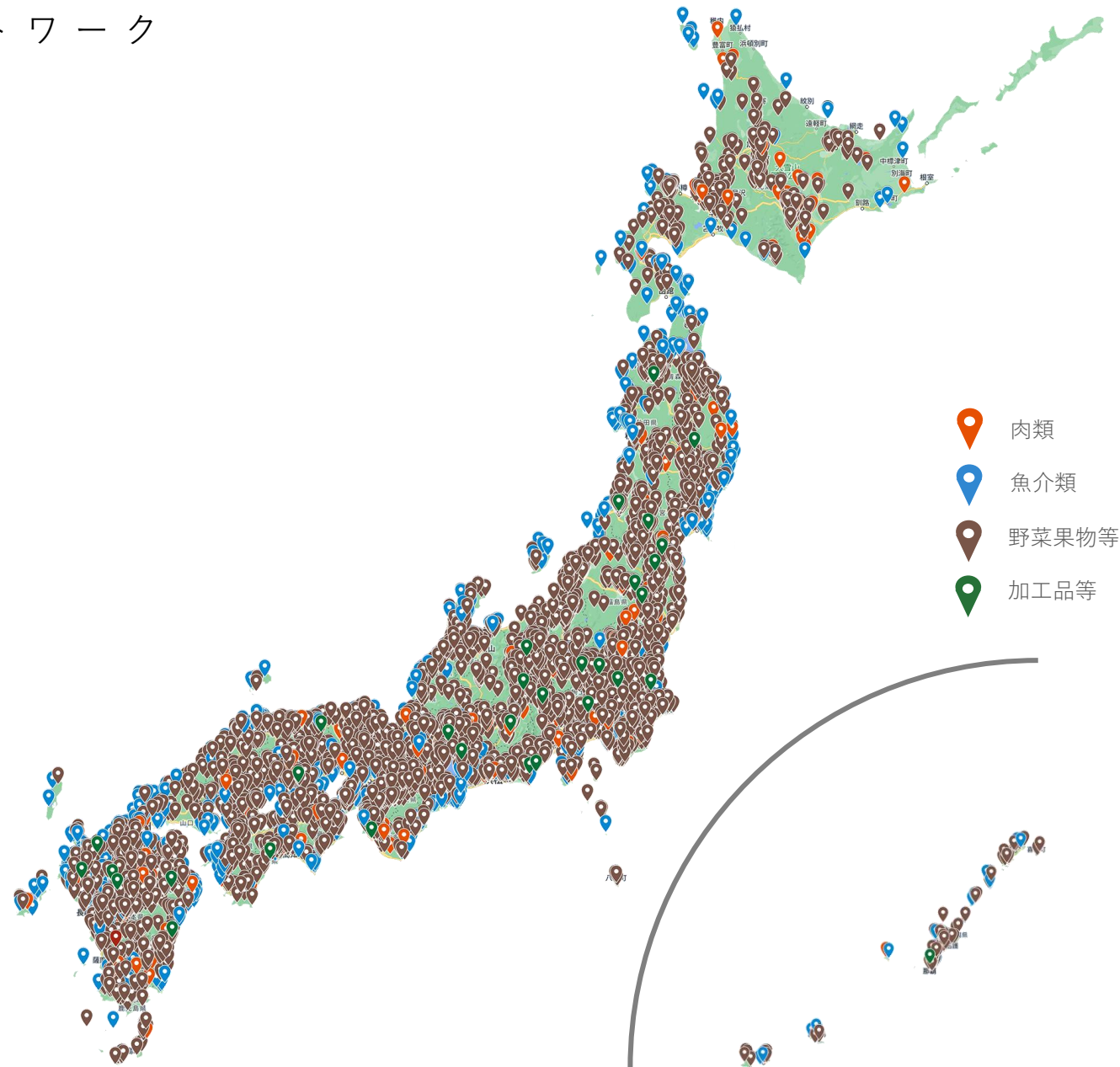
8,600名超の生産者を
ネットワーク。

※1自ら生産活動を行う一次生産者のみが登録するプラットフォームとして日本最大級

※2日本の自治体数1765自治体（47都道府県+1718基礎自治体）

ポケットマルシェ登録生産者が根ざしている市町村数1,571より試算

※3自治体数は「e-Stat政府統計の総合窓口」2024年12月31日時点



地図データ@2023Google,TMapMobility